

【教育目標】

情報システム学科は、高度情報化社会において重要となる「人に優しい」感性的な評価の情報処理を基に、情報システム産業に貢献できる人材養成という目的を達成するために、以下の教育目標を掲げる。

- ア. 「人に優しい」情報システムの構築に携わり、活躍できる感性豊かな創造力を養う
- イ. 多岐にわたる情報システム産業に関わる技術に対する幅広い視野を養う
- ウ. 情報技術におけるシステム系・メディア系それぞれの基礎知識をもとに高度情報化社会に貢献できる実践力を養う
- エ. 人と情報技術を繋ぐ人材となるため、感性的思考と論理的思考の両方を養う
この教育目標を実現するために、以下のとおりディプロマポリシー、カリキュラムポリシーおよびアドミッションポリシーを定める。

【ディプロマポリシー】

情報システム学科では、「人に優しい」情報システムの構築において活躍できる感性・創造力、情報システム産業に関する技術に対する幅広い視野、高度情報化社会に貢献できる実践力、感性的思考と論理的思考を養うという教育目標に基づき、以下の知識・能力を身に付け、かつ所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、学士(工学)の学位を授与します。

- ア. 【システム技術力】システム系の情報技術の基礎知識を身につけている
- イ. 【メディア技術力】メディア系の情報技術の基礎知識を身につけている
- ウ. 【問題発見】情報社会および情報産業にかかわる需要を見出し要約する力を身につけている
- エ. 【技術課題化】潜在的課題を含め現代社会にある課題を情動的側面で捉え情報技術課題として定式化する力を身につけている
- オ. 【倫理観】情報および情報技術を取り扱う者としての倫理観を身につけている

【カリキュラムポリシー】

情報システム学科では、「人に優しい」情報システムの構築において活躍できる感性・創造力、情報システム産業に関する技術に対する幅広い視野、高度情報化社会に貢献できる実践力、感性的思考と論理的思考を養うという教育目標に基づき、学生がディプロマポリシーに掲げる資質・能力を身につけられるよう、以下のような教育課程を編成・実施します。体系的な学習ができるように、フィールド教育科目と専門教育科目に分け、専門教育科目には基礎科目、専門科目、キャリア関連科目、卒業研究を配置しています。さらに専門科目にはシステム系科目、メディア系科目、PBL 科目を設置しています。学生は、自身の能力特性と志向性に合わせてシステム系科目とメディア系科目の修得科目数を自由に調整可能なカリキュラム体系となっています。各コースの教科は、以下の通りです。

- ・1年次では情報システムの設計デザインに関する課題発見について学習
- ・2年次では課題を解決するための基礎技術の学習
- ・3年次で課題を解決するための応用技術を学習
- ・4年次で卒業研究を通して実際の課題解決に取り組む

また、情報システム産業の社会的な貢献を理解するために、各年次に企業から実務経験者を招聘し、理論に偏ることのない教育が行えるようにも配慮しています。

【アドミッションポリシー】

情報システム学科では本学科のディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに共感・賛同する人を受け入れます。入学選抜にあたっては、以下に示す「求める学生像」に照らし厳正に選抜します。

(求める学生像)

- ア. 基礎的・基本的な知識・技能
 - (a) 情報システム・情報メディアについて学ぶための基礎的学力を有する人。
- イ. 思考力・判断力・表現力等
 - (a) 情報デザインを発展させるための論理的思考力を有する人。

ウ. 主体的に学習に取り組む態度

- (a) 「人に優しいシステム」の考え方に賛同する人。
- (b) 情報システム(情報コンテンツ、データなどを処理するシステム)の設計・製作に興味のある人
または情報システムを道具として情報メディア(情報コンテンツ、データ)の製作・編集に興味のある人。
- (c) 情報システム・情報メディアについて深い興味を持ち、能動的に修得する勉強意欲をもつ人。
- (d) 情報倫理観を備え、情報システム・情報メディアを人道的かつ平和的に使用する人。
- (e) 修得した技術・能力を社会貢献に役立てられる人。